

遊佐町における道の駅移転整備に係る基盤整備検討調査

地域の特徴等

- 遊佐町は、山形県の最北部に位置し、町のシンボルである鳥海山をはじめ風光明媚な自然が豊富に残されており、平成28年には鳥海山・飛島ジオパークが日本ジオパークとして認定を受けている。
- 本町の国道7号線沿いにある道の駅「鳥海」は、広く全国から安定した集客（毎年200万人以上）を誇っており、平成26年には第1回東北道の駅好事例大賞を受賞している。
- 一方、令和8年度に日本海沿岸東北自動車道の山形・秋田県境区間が全線供用となることに伴い、国道7号線の交通の大部分が日治道に転換することが想定されることから、道の駅を日治道沿いに移転することで、ゲートウェイとしての新たな広域観光拠点としての活躍が期待される。

【調査箇所：山形県遊佐町】



(1)社会的背景・状況の変化等（きっかけ）
 平成28年3月…道の駅の移転を謳った遊佐パーキングエリアタウン基本計画を公表。
 令和2年2月…日治道山形・秋田県境区間の開通見込み公表。
 令和3年6月…道の駅整備に係る遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会の設置。

(2)民間事業者の活動・新たな投資・予定

- PPP/PFI事業者による道の駅の運営（令和8年～）
- 地域商社等による地場製品の販売拡大やお土産品の開発・販売（令和8年～）
- 観光協会等による観光案内所の設置、町内観光ツアーの実施（令和8年～）

密接な
関連性

(3)基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 遊佐町が単なる通過点とならないように、日治道のICから離れている既存道の駅について、移転と機能の更なる充実が必要である。

(4)【調査内容】

- ①道の駅整備に係る需要予測、概略設計等
- ②道の駅整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

(5)民間の活動と一体的に整備する効果

- 道の駅移転と民間事業者が行うサービス向上により、道の駅利用者・売上の向上。
- 町への来訪者が増加し、地域経済の活性化に繋がる。

